

ホンダモビリティランド株式会社

鈴鹿サーキット

「木づかい宣言」

令和8年4月 ～ 令和11年3月

鈴鹿サーキットは、1962年に日本初の本格国際レーシングコースとして産声をあげ、日本のモータースポーツ普及に貢献してきました。

ホンダモビリティランドは、これまで鈴鹿サーキットを運営するなかで培ってきたノウハウを結集し、未来へ向け、より豊かなモビリティ文化を創造することで「喜び」「楽しさ」「感動」を広く社会に提供し続ける企業でありたいと考えています。

今回の木づかい宣言では、鈴鹿サーキットのホテル・レストランやパーク内の施設に三重県産木材を使用していくことで、子供たちへ木のぬくもりとともに地元木材の「魅力」を伝え、地域の活性化や森林の保全・育成等に貢献したいと考えています。

木づかい運動計画書

下記施設に県産材を使用していることを、鈴鹿サーキットを訪れたお客様に紹介することにより県産材をPRします。

鈴鹿サーキットホテル

施設名：「LODGE」

県産材使用箇所：客室内ベッド

施設名：「The Spa」

県産材使用箇所：外壁の一部・軒天・ロビー



県産材をふんだんに使用したナチュラルモダンテイストで温かみのあるロビー

施設名：「The Dining」

県産材使用箇所：内装およびシェフズカウンターの一部

鈴鹿サーキットパーク「チララのハローガーデン」エリア

施設名：チララのフラワーワゴン（アトラクション）

県産材使用箇所：駅舎の壁面や車両ボディ

施設名：ぶんぶんのパンケーキ屋さん（パーク内レストラン）

県産材使用箇所：テーブル・椅子、カウンター等の家具類、看板

施設名：ポタジェンヌ（アトラクション）

県産材使用箇所：外壁材

使用量：4.91㎡



「ポタジェンヌ」全景